

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
実習3(ラジオ)											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	飯村聖美、斉藤りか、山崎進			実務 経験	有	職種	ディレクター。エンジニア				
授業概要											
ラジオ番組制作に必要な不可欠な技術を身につけることを目的とし、常に自分本位ではない番組制作を意識し、ラジオ以外のメディアへの展開も視野に入れながら、ラジオ放送局の放送基準に基づいた番組制作の実習を行う。録音番組の制作を主体に幅広いジャンルに対応した企画性の高い番組を制作し、クリエイティビティを磨き、リスナーがより楽曲への理解を深める構成、演出を目指す。											
到達目標											
オリジナルの番組企画の立て方や企画書、台本の制作方法を学び、実際にデジタル・スタジオでの収録や校外を含む取材、実験収録、そして豊富な音源とサンプラーやProToolsまたはAuditionを使用した音源編集による素材作りの後、スタジオ機器を使用したミックス、選曲と音の演出方法など、ラジオ番組を制作する上で必要な力を身につけることを目標とする。											
授業方法											
技術的にはミキサー卓のフェーダーの上げ方のコツや出演者、スタッフへのQの出し方など、現場で要求される細かな手業からサウンド・ステッカー制作、ナレーション収録、ProToolsまたはAuditionなどを使用したナレーション編集・楽曲編集を経て、それらをミックスした完パケまでの過程を学び体得する。また声優・演劇科の学生、もしくはプロの俳優を招いてラジオドラマを制作し卒業展覧会で発表する。											
成績評価方法											
課題の内容、提出状況、平常点を総合的に判定する。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。											
教科書教材											
必要に応じてプリントを配布。											
回数	授業計画										
第1回	構成を決め、台本制作①打合せで演出を踏まえた構成を決め、パソコンで台本の枠組みを制作する。										
第2回	台本制作②+選曲会議パソコンで具体的な内容の台本を制作する。										
第3回	取材・収録リハーサル疑似取材や疑似収録でリハーサルを行い、本番に備える										

実習3(ラジオ)

第4回	出演者を迎えて取材・収録録音機材を選出し、実際に取材・収録をする。バックアップの習慣も身につける。
第5回	ナレーション音源編集①番組の尺に合わせて収録した音源をProToolsまたはAuditionなどで編集する。
第6回	ナレーション音源編集②番組の演出に合わせて編集した音源をProToolsまたはAuditionなどで微調整の編集をする。
第7回	サウンド・ステッカー制作番組のカラーや意図が明確に表れるよう、楽曲や効果音を選びPCまたはミキサー卓を使って制作
第8回	完パケ+試聴会収録音源、CD音源、サウンドステッカー等を演出にそって編集し2mixに完パケする。
第9回	ラジオドラマ制作①台本読み合わせ、必要な効果音の収録方法の案を出し、見積書作成をする
第10回	ラジオドラマ制作②台本に沿った演出を考え、効果音(または俳優の台詞)を収録する。
第11回	ラジオドラマ制作③台本に沿った演出を考え、俳優の台詞(または効果音)を収録する。
第12回	ラジオドラマ制作④効果音の編集をする。
第13回	ラジオドラマ制作⑤台詞の編集をする。
第14回	ラジオドラマ制作⑥演出にそってProToolsまたはAuditionなどで収録音源、CD音源等を2mixに編集し完パケする。
第15回	まとめ試聴会これまでのまとめと作品の試聴会

実習3(ラジオ)

第16回	番組コンセプトの考案当学園の他専攻より出演者を招く番組のコンセプトを考案し、番組展開を提案できる。
第17回	構成と台本制作番組の時間枠を有効に使うために音楽やトークの展開を考え構成し台本を書く事ができる。
第18回	番組企画のコンペティション番組企画のコンペティションに参加しプレゼンテーション能力を高める。
第19回	事前取材の内容を考案番組化するために必要な要素をリスト化し、出演依頼書の制作や事前取材の用意ができる。
第20回	番組ナレーション収録出演者を招いてスタジオで収録ができる。
第21回	番組サウンド・ステッカー制作番組のコンセプトに合ったサウンド・ステッカーを制作し、コンペティションに参加できる。
第22回	音源編集と発表番組のコンセプトや演出に合わせ、収録したナレーション音源を編集できる。
第23回	選曲番組コンセプトにそった選曲をし、楽曲の構成を理解した上でその魅力を十分に伝える事ができる。
第24回	模擬番組の実演①25分の生放送を想定した模擬番組を制作し、Qシートを制作できる。
第25回	模擬番組の実演②25分の生放送を想定した模擬番組を、演出を加えて制作し、Qシートを制作できる。
第26回	ゲスト収録事前に一人につきゲストのブッキングしておき、複数のゲストの収録ができる。
第27回	音源編集と発表番組のコンセプトや演出に合わせ、一人につきゲスト一人分の収録した音源を編集できる。

2020年度 日本工学院八王子専門学校

音響芸術科

実習3(ラジオ)

第28回

番組フォーマット決め番組フォーマットを提案できる。

第29回

模擬番組の実演③複数のゲストが出演する模擬番組の制作ができる。

第30回

まとめ模擬番組を視聴し、今後の課題を見つける